

## I. 2018年度入試のまとめ

次は「『UNIV PRESS NEWS 大学通信』2018年2月21日号」よりの抜粋。副題には「国立大志願者数は18年も減少」「私立大は文系学部を中心に志願者増」とあります。

大学入試を小さなスケールでしか考えていない人は、しっかり認識しよう。10万人の志願者のある大学もあるし、ライバルは全国にいる！



文部科学省の発表では、国立大の志願者数は前期日程 19 万 5255 人（昨年比 0.9 %減）、後期日程 13 万 4950 人（2.9 %減）。公立大は前・中・後期日程の合計で 13 万 6503 人（0.6 %増、独自日程入試を行う大学除く）。全体の志願倍率は国立大が 4.2 倍で昨年度とほぼ同じ、公立大は 6.3 倍で 0.1 ポイントダウンした。

学部系統別の状況では、国立大は複合や学際<sup>注1</sup>などの「その他」の系統で 3.8 %増。他の分野はいずれも減少し、薬・看護系が 7.3 %減、次いで教員養成系 4.2 %減。国立大の定員の 4 割を占める理工系は 0.4 %減で昨年とほぼ変わらない。公立大は、私立大の公立化や学部学科の新設、改組で定員が増えた人文・社会系が 6.3 %増加。一方、医・歯系は 15.2 %の大幅減。昨年の大幅増の反動と見られる。<sup>注2</sup>（次項下）

「文高理低」の志願状況で、私立大一般入試は文系学部が充実している総合大学を中心に志願者が増加した。

首都圏の難関大では、中央大、立教大、学習院大などの増加が目立つ。早稲田大は 2 %増、慶應義塾大は微減で大きな変化はない。上智大は 7 %増、従来型の一般入試で減少したものの、TEAP 利用型が 47 %の大幅増となった。MARCH（明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大）、学習院大、東京理科大などの難関大は、いずれも志願者が数千人規模で増加した。増加が目立つのは中央大で、20 %増（センター後期を除く）。増加数も約 1 万 4600 人（同）と飛び抜けている。次いで立教大の 15 %増。センター利用入試と全学部グローバル方式の増加率が高く、どちらも英語外部試験を利用できる方式だ。

18 年入試は、英語外部試験を利用できる入試で志願者が増加した大学が非常に多い。その活用の仕方が、各大学の入試改革の鍵と言えるだろう。

西日本の関関同立（関西大・関西学院大（こちらは「かんせい」と読む）・同志社・立命館大）は、関西大が 13 %増（後期・センター後期を除く）、同志社大 4 %増、立命館大 3 %増（3 月入試・センター後期を除く）。関西学院大は微減（センター 3 月を除く）だった。

2 月 21 日時点で志願者数が 10 万人を超えたのは、多い順に近畿大・法政大・明治大・早稲田大・日本大・東洋大の 6 大学だ。

<sup>注1</sup>：二つ以上の科学の境界領域にあること。いくつかの分野にまたがり関連すること。

## II. 警察官の仕事説明会

2月23日(金)7時目、山県警察署の石田様を講師に、「警察官の仕事」の説明会を行いました。警察官という仕事のイメージが固定されているようですが、実は多様な仕事があるということを知りやすく説明下さいました。生徒も説明後に、何度も質問を繰り返していました。



2年生就職希望者対象の夏休みインターンシップでも、毎年受け入れ枠を頂いていますが、今後、例えば「婦警さんからの話を伺いたい」などの要望があれば応えていきたいとのことでした。



## III. 出版物 こんな人いました 都市デザイン系志望者にも

ア) 協会誌「Consultant」2018年1月号(一般社団法人建設コンサルタンツ協会)

特集: 土木遺産IV 戦後復興を支えた土木

論説提言: 「社会経済のイノベーションを社会資本政策から」(『道』の機能

向上・利活用追求による豊かな暮らしの実現へ)などの項目あり。

進路資料室。

## VI. 日程

確認してください



行事● 3月23日(金)スタディサポート(1・2年希望者)

外部● 3月17日(土)広島大学 体験科学講座~女子高校生特別コース

12:30~17:00 広島大学工学部大会議室

● 3月17日(土)介護のお仕事魅力発見フェア 10:00~15:30 広島産業会館 西展示館

就職面談コーナー、介護・保育の神学相談コーナー、介護ロボット等の展示

など 入退場自由 チラシは進路前

## V. 春休みCT対策補習 & スタディサポート

今年度も3月26日(月)~30日(金)、春休み補習を行います(時間割後日)。しっかりついてくるように。ただし、家庭学習を怠らないように。2年生対象ですが、「古典」「英語」「数I・A」は1年生国公立希望者の受講可。2月中は3年生に遠慮していたのですが、自習室も積極的に利用しよう。

学年	科目	内容	備考
1・2年	古典	センター対策	1年国公立希望者可
1・2年	英語	センター対策	1年国公立希望者可
1・2年	数I・A	センター対策	1年国公立希望者可
2年	数II・B	センター対策	対象は2年生のみ
2年	日本史B	センター対策	対象は2年生のみ
2年	現代社会	センター対策	対象は2年生のみ

### スタディサポート案内

1・2年生の四大・短大・医療系専門学校・公務員志望者を対象にスタディサポート(英数国+学習状況調査)を実施します。学習到達度の把握と学習意識・学習習慣の分析を行い、次年度の学力向上につなげるためです。別途案内を配付します。

注2: 大幅に倍率が上がった翌年は、反動で受験生から敬遠される。その逆の動きも含めて「隔年現象」と言われる。



## VI. エイゴリア〜ン 加計高の 福山 雅治氏かく語りき

次は英語科の先生が、2年生対象英語補習の際に指導されたこと。英語の学習のみならず、他教科の学習、進学だけでなく、就職に向けての勉強の心構え・方法論としても当てはまることです。他の先生も同じことをおっしゃっていますね。二回に分けて掲載します。正座して読むように。

### 1 受験生の定義

(1) 受験生とは、志望校合格へ向けて毎日受験勉強をする人のこと。

(2) 受験勉強とは、基礎学力（日々の授業）＋Technique & Tips（コツ）

ただし、自分から進んで勉強することが本当の受験勉強です。「明日英単語の小テストがあるから、TAIGI けど覚えようか」では本当の力は付きません。「この単語を覚えれば次の模試で点が取れる！頑張って覚えよう！」と思えることが受験勉強のスタートです。

### 2 受験生の特徴

受験生は「おしゃれ」です。

(1) 受験生は時間の使い方がおしゃれ

#### ① 3点固定

「起床時間、就寝時間、勉強開始時間」の3点が決まっていますか？特に勉強開始時間を固定させることは受験生にとって必須事項。毎日夜8時になれば、受験勉強開始！この時間はテレビも見ない。どうしても見たい番組があれば録画して、土曜日・日曜日に見る。ラインも禁止！自分が受験生であることを友だちにもあらかじめ知らせておこう。

#### ② すき間時間の活用

例えば「授業開始前、着席してからチャイムが鳴るまでの1分間に英単語を覚える」など、とても効率が良い時間の使い方です。

#### ③ 問題演習は時間を設定して行う

問題演習は設定した時間内で行い、ダラダラと問題を解かない。例えば大学入試センター試験英語筆記で文法問題解答に使える時間は、1問1分程度。日々の受験勉強時から意識して演習に取り組みましょう。知らない文法の問題にいくら時間をかけても、解けないものは解けません。時間の無駄遣いです。それよりも解答・解説をじっくり読むほうが断然効果的です。それでも分からない場合は友だちや先生に質問しましょう。

(2) 受験生は持ち物がおしゃれ

#### ① 筆記用具

大学入試センター試験であれば、鉛筆、プラスチック消しゴムなどが必需品。毎日の受験勉強時や模擬試験時など常に実戦モードで。消しあとが汚いなんて SAITEI よ。

#### ② 教材

基本的には、授業で使用するものを中心に勉強するのがベストだと思われます。何を言えばよいのかわからない時は先生に聞くべきです。

#### ③ 弱点ノート（解き直しノート）

模擬試験は復習が大切。解答できなかった問題を徹底分析して、ノートにまとめていきましょう。この作業は、比較的余裕のある土曜日・日曜日や春休みを活用しましょう。

(3) 勉強する姿そのものがおしやれ！

受験は「個人戦+団体戦」です。

①個人戦・・・もちろん自分が勉強しないことにはどうにもなりません。

②団体戦・・・個人戦に加えて、クラスや学校といった団体の雰囲気がとても大切。これは大学入試だけの話ではなく、希望進路実現すべてにおいて共通する事柄です。勉強している友達の姿を見て「何ええかつこしとんねん！」という団体では、みんなにとって悲劇。「自分も頑張ろう！」という雰囲気がクラスや学校全体に広がる。そのような団体こそ、加計高校の目指す姿のはずです。

## VII. JST吉田先生による進路講話 転機を受け入れる覚悟はありますか

2月23日(金)、6時間目2年生全員を対象にJST吉田先生から進路講話をしていただきました。

5時間目には、1年生の就職希望者にも、就職の心構えを進路資料室で語って頂きました。進学希望者は「仕事」を「学部・学科」と読み替えればいいでしょう。以下は2年生への講話の一部です。

進路決定で必ず必要なこと  
(キャリアプランニングプロセス)

- ・Step1: 意思決定の必要性の自覚
- ・Step2: 自己の再評価
- ・Step3: 職業・仕事の特定
- ・Step4: 選択肢に関する情報収集
- ・Step5: 仮決定
- ・Step6: 教育・訓練
- ・Step7: 就職・異動

誰にでも転機は訪れます。自分は今から就職・進学という道を選び、それに向けて準備していかなければならない。それをこれからやっていくんだという、**主体的な覚悟**が大切です。それが出来て初めて主体的な準備を進めることが出来る。

社会人に必要な力を「社会人基礎力」と表現する場合がありますが、これは、倫理観や基本的な生活習慣を土台に、しっかりした基礎学力とその仕事に必要な知識・資格を活用して、会社組織の中でチームと

して働くことの出来る能力です。

基本的な生活習慣が出来ていない人は、まずそこを改めないと前に進めません。また、評価は他人がするもの。自分が「これだけ頑張ったのに」と思っても、それは通用しない。そして、忍耐力・謙虚さも必須。例えば、職場で上司に叱られたとする。特に生産現場では、事故・ケガ、場合によっては命に関わることなので、厳しく叱られるかも知れません。「どうしてですか!」と思って抗弁するのは良い選択とは言えませんし、それがもとで職場を辞めてしまったら何にもなりません。後日、その先輩から「この前はひどく言い過ぎたな」と声をかけられるかも知れませんよ。この点、工業科の生徒は高校入学時から徹底して鍛えられていますが、残念ながら普通科生徒の中には勘違いしている人もいます。

何がしたいのか分からないという人は、どんな仕事があるのか、興味を持って色々と調べることを。そうすれば、狭い世界で持っていた自分の価値観、自己理解も変わってくるはずですよ。

